

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
相談援助の理論と方法Ⅲ		必修 (社) 選択 (精.心)	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
渡邊 典子	B312	noriko.watanabe	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的> 本科目はソーシャルワークの包括的な理解が求められることから、ソーシャルワークの基本的なケアマネジメント、アウトリーチ、社会資源の活用などに関する知識・技術を獲得することを目的とする。</p> <p><概要> 本講義では、ソーシャルワークの理論・モデル、アプローチに関する知識を、様々なエクササイズを交えながら理解を深める。ソーシャルワークの価値規範・倫理と基礎的な知識に基づき、実践に必要な理論・モデル、アプローチ理解するとともに、活用するために必要な技術を修得する。</p>				
学習上の助言	教科書を中心に授業をすすめることから、事前のリーディング課題に着実に取り組み、授業内容の関連について自ら十分に振り返ることが、授業の目的達成に重要である。教わるのではなく自ら学ぶことが、必要であることを把握したうえで受講が望ましい。				
教科書	新・社会福祉士養成講座 8 第 3 版 相談援助の理論と方法Ⅱ/編：社会福祉士養成講座編集委員会/中央法規出版				
参考書	新・社会福祉士養成講座 7 第 3 版 相談援助の理論と方法Ⅰ/編：社会福祉士養成講座編集委員会/中央法規出版。新・社会福祉士養成講座 6 第 3 版 相談援助の基盤と専門職/編：社会福祉士養成講座編集委員会/中央法規出版。社会福祉士 相談援助演習 第 2 版/編：社会福祉士養成講座編集委員会/中央法規出版。その他テキスト以外の必要資料は別途配布し、引用元として参考図書を紹介する。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	ケアマネジメントの知識を獲得し、過程が説明できる。			HSU(2)	
②	理論に基づいたアセスメントの能力を獲得し、実践で活用できるようになる。			HSU(1)、(3)、WP(1)	
③	グループワークの展開過程が理解でき、自助グループについて説明ができる。			HSU(1)、(3)、(4)、WP(4)、(6)	
④	ソーシャルワーカーとしての臨機応変な対応技術を身につける。			HSU(2)、(3)、(5)、(6)、WP(3)	
⑤	実際の現場でのソーシャルワーカーの実践について、理論・モデルを通して理解する。			HSU(2)、(4)、WP(3)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (講義概要・講義の進め方・評価方法等の説明) 相談援助の理論と方法Ⅰ・Ⅱを復習する。	講義	1 人 15 秒ずつ自己紹介を考えてくる。	4	
2	【第 1 章 相談援助における対象の理解】 相談援助の対象領域を領域ごとに捉えることを学習する。	講義	第 1 章を読んでくる。 授業内容の振り返りを行う。	4	
3	【第 2 章 ケースマネジメント】 ケースマネジメントの基本と過程を理解する。	講義	第 2 章を読み、教科書事例のプランを作成し、次回持参する。	4	
4	ケースマネジメント演習について学習する。	講義・演習	第 2 章を改めて読んでおく。 プランの見直しを行う。	4	
5	【第 3 章 グループを活用した相談援助】 グループを活用した相談援助の展開過程を学習する。	講義	第 3 章を読んでくる。 授業内容の振り返りをする。	4	
6	自助グループについて学習する (富士北麓の自助グループの紹介)。	講義・演習	自助グループについて調べる。	4	
7	【第 4 章 コーディネーションとネットワークング】 連携や協働の基盤をおさえ、有効に機能する手法を学習する。	講義	第 4 章を読んでくる。 授業内容の振り返りを行う。	4	
8	【第 5 章 社会資源の活用・調整・開発】 相談援助における社会資源の開発の意義を学習する。	講義	第 5 章を読んでくる。 授業内容の振り返りを行う。	4	
9	【第 6 章 さまざまな実践モデルとアプローチⅠ】 実践モデルを理解し、実践展開で活用できるようになる。	講義	第 6 章全体を読んでくる。 授業内容の振り返りを行う。	4	
10	ソーシャルワーカーが学ぶ理論	講義	第 6 章の該当ページを読む。授業内容の振り返りを行う。	4	
11	システム理論、生態学理論、バイオ・サイコ・ソーシャルモデル	講義	第 6 章の該当ページを読む。授業内容の振り返りを行う。	4	
12	アプローチの考え方、治療モデル・ストレングスモデル	講義	該当ページを読んでくる。授業内容の振り返りを行う。	4	
13	治療モデル・ストレングスモデルの事例をもとにした実践について	講義	該当ページを読んでくる。授業内容の振り返りを行う。	4	
14	ジェネラリスト・ソーシャルワークの展開と実践モデルについて学習する。	講義	該当ページを読んでくる。授業内容の振り返りを行う。	4	

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

15	前期講義のまとめ（振り返り・試験のポイント確認等）	講義	分からない部分を明確化する。 資料をまとめておく。	4			
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照						
達成度評価							
総合評価割合（%）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		80	20	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	70	0	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	10	10	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点			フィードバックの方法		
試験	①	✓	講義で学んだ知識を確認する。 試験では、講義中に説明した内容やテキスト及び配布資料から出題する。			試験の答案用紙は返却しないが、模範解答及び全体の得点分布等の評価結果を公表する。なお、希望者には採点した結果を解説する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①		講義の中で課題（ケアプラン作成、自助グループを調べる）の提出を課する。			コメントにて評価を行い返却する。	
	②						
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>全 15 回が登校型授業（対面授業）であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。社会福祉士取得希望者は必ず履修すること。</p> <p>担当教員：◎渡邊典子、梅沢佳裕（第 10 回～第 15 回）</p> <p>教員の実務経験：渡邊典子：社会福祉士を平成 11 年に取得し、以後ソーシャルワーカーとして 20 年以上相談援助の実務経験。</p> <p>実践的授業の内容：教員が実際に現場で担当している事例等を用いながら（個人を特定できないよう加工修正）、教科書の理論について現場の実践内容を踏まえて説明し、実践と理論の双方からソーシャルワークを理解できるように工夫する。</p>							